

A long noncoding eRNA forms R-loops to shape emotional experience-induced behavioral adaptation



Makoto Taniguchi, Ph.D.
Associate Professor
Department of Neuroscience
Medical University of South Carolina

日時 : 2025 年 7 月 18 日 (金) 午前 10 時-11 時

場所 : 東京大学薬学部 大学院講義室

谷口先生は東京都立大学で博士号を取得された後、米国テキサス大学サウスウェスタン・メディカルセンターにて、Christopher W. Cowan 博士の指導のもと、コカインなどによる薬物依存行動を制御するエピジェネティックな遺伝子発現機構の研究に従事されました。その後、ハーバード・メディカルスクールを経て、現在はサウスカロライナ医科大学において独立し、PI として分子神経科学分野でご活躍されています。これまで情動行動の変化を制御する遺伝子発現機構の研究を進められており、今回は昨年 *Science* 誌に掲載された「3本鎖のゲノム構造 (R ループ) によって制御される経験に基づく情動行動の変化」を中心に最近の研究成果についてご発表いただきます。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

Contacts

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田泰輔

tel: 03-5841-4868 e-mail: taisuke@mol.f.u-tokyo.ac.jp